

平成23年度科学・技術関係予算についての意見募集結果
(24008：テニユアトラック普及・定着事業)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	112件
改善・見直しをした上で推進すべき	23件
推進すべきではない	8件
その他	2件
合計	145件

【主なご意見】

任期の有無に関わらず、博士課程卒業後の進路選択の不自由さ、あるいは不安感から研究職を諦めていく優秀な人材は少なくない。そのような若手の人材が少しでも将来に希望を持ち、なおかつ将来の科学技術立国を支えていく志を維持していく為にも、若手に対する多様なポストの整備は重要なことと考える。その為の施策としてテニユアトラックの普及・整備は推進していく価値があるものとする。

この施策を通じて、博士課程修了後の若手研究者が安心して活躍できるような職とその職の採用数を増やしてほしい。

将来的にテニユアトラックの定着は、少子化により競争力が低下していく日本の自然科学研究にとって必須事項であるので、強く推進すべきである。しかし、現時点では、これまでの人事制度との軋轢から、テニユアトラック開始時点で、テニユアポジションの数が確保されていないなどの問題があり改善の余地がある。よって、テニユアポジションが確保されている大学や研究機関に優先的に予算を与えるなどの措置が必要と考える。